

【 写 真 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
一 席	マレー	西山和子	松阪市高須町
二 席	ジャンプ	川合恒市	多気町五桂
三 席	ファンタジー	鈴木聡子	大台町高奈
岡田文化財団賞	キャット	村林啓司	松阪市小黒田町
奨励賞	まなざし	三瀬 誠	松阪市春日町
奨励賞	デキチャッタ婚の日	廣瀬仁美	松阪市平成町
奨励賞	旅立ち	加藤洋子	松阪市川井町
奨励賞	母と子	松本 実	松阪市山添町
奨励賞	花園に遊ぶ	長谷香里	松阪市御殿山町
奨励賞	緊張の時	塩谷紀生	多気町弟国
奨励賞	廃屋の彩り	森 泰宏	松阪市愛宕町三丁目
奨励賞	好奇心	達中美知子	多気町西山
奨励賞	17才、弾ける！	末永 薫	松阪市湊町
入 選	海に生きる	勝田隆夫	松阪市茅原町
入 選	出番前	福安正子	松阪市久保町
入 選	山里の四季	黒石真理子	松阪市虹が丘町
入 選	社会見学	深田孝郎	多気町朝柄
入 選	あじさい咲く頃	金谷 清	多気町朝柄
入 選	育メン奮闘記	北村真佐子	松阪市垣鼻町
入 選	砂あらし モオーいや！	西山佐平	松阪市高須町
入 選	みまもり	西山智子	松阪市高須町
入 選	散りゆく	池山正枝	松阪市船江町
入 選	記憶の断片	藤原 彰	松阪市川井町
入 選	店先	杉浦和男	松阪市獺師町
入 選	たわむれ	前川悦雄	松阪市上川町
入 選	飛躍	油井美津子	松阪市小津町
入 選	我ら写真仲間	中村右品	松阪市駅部田町
入 選	夕立前のひまわり	吉岡一巳	松阪市岡山町
入 選	ハッピーな門出	松田輝子	松阪市船江町
入 選	瞬景・モネの池	古野 薫	松阪市川井町
入 選	ジャンプ一番	長谷川清美	明和町金剛坂
入 選	里帰り	坂井 忍	多気町弟国
入 選	解れる緊張感	西岡ひとみ	松阪市垣鼻町
入 選	4人目のひ孫です	石山一夫	大台町佐原
入 選	シルエット	野呂正明	松阪市小片野町
入 選	五月晴れ	笠野和彦	松阪市日丘町
入 選	ゆかいな向日葵	竹村英也	松阪市川井町
入 選	川遊び	重盛よし美	松阪市平生町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	郷愁の里	西山英嗣	松阪市嬉野野田町
入 選	長老	竹内 博	松阪市大口町
入 選	塩田の朝	松本征夫	明和町明星
入 選	深谷の光芒	松本富美子	明和町明星
入 選	五代目に託す日本の農業	中川眞一	松阪市櫛田町
入 選	グランドに感謝	御子暢秀	多気町相可
入 選	自然のライン	綾野利勝	多気町仁田
入 選	記念の2・ショット	乾 吉郎	明和町志貴
入 選	帰って来たスペースシャトル	山口竜馬	松阪市高町
入 選	大淀漁港灯台日誌	吉田 紘	松阪市大黒田町
入 選	The Paphio	湊 恵一郎	松阪市桜町
入 選	金メダル	脇田猛志	多気町相可台
入 選	琥珀色の秋	大原行輝	松阪市下村町
入 選	閑な店番	堀川正則	松阪市田原町
入 選	朝の清掃	村田和人	松阪市泉町
入 選	散歩道	柴田好憲	松阪市高須町
入 選	雨上がり	上田倫代	松阪市駅部田町
入 選	煌めく川面	出口量造	松阪市朝日町一区
入 選	翔く	宮崎政明	松阪市久保町
入 選	彷徨う	宮崎秀翠	松阪市久保町
入 選	哀願	竹内貞子	松阪市大口町
入 選	そら急げ！	小林孝章	松阪市中万町
入 選	雲海に行く	中村恵明	松阪市小津町
入 選	たまんなーい！	松本由紀子	松阪市駅部田町
入 選	羽撃く	杉本貞次	松阪市町平尾町
入 選	ふたりの坂道	立花浩二	松阪市桜町
入 選	万華鏡	加藤定美	松阪市嬉野中川町
入 選	陰の立役者	溝田陸央	松阪市東久保町
入 選	お説教	片岡喜久夫	松阪市小片野町
入 選	しぶき	橋本英幸	松阪市飯南町深野
入 選	雪にひかれて	宮田多美男	大台町新田
入 選	出番前	鈴木久司	多気町朝長
入 選	波紋	野原久忠	多気町波多瀬
入 選	晩秋の宮川	鈴木 昇	大台町高奈
入 選	カメラでポーズ	奥田 均	松阪市豊原町
入 選	托鉢僧	出口一男	大台町大ヶ所
入 選	祭りの世話役	松本 修	松阪市泉町
入 選	変化	田村仁志	松阪市大黒田町
入 選	いやだよ	高橋克己	松阪市曲町
入 選	兄弟	大川倍未	松阪市清生町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	夕暮れ	小林美恵子	大台町新田
入 選	怒り	阿部道男	松阪市虹が丘町
招 待	煌めく街・HARAJUKU	梅川紀彦	松阪市新町
招 待	憧れ	村上光宏	明和町斎宮
招 待	白い猫	金谷克造	松阪市大黒田町
招 待	Newspaper	嶋岡恭司	松阪市中央町
招 待	女神降臨	中森 勉	松阪市嬉野中川町
招 待	聖水を汲む女	織戸千尋	松阪市山室町
審査委員	樹影	溝田幸輝	松阪市東久保町
審査委員	帰巢	田辺三郎	津市久居元町
審査委員	蓮	樋口幸雄	鈴鹿市南旭が丘

(順 不 同)

● 審 査 評

応募点は例年並みであったが、内容的に作品のねらいがはっきりしてレベルは向上している。

一席の西山さんのマレーは少女のまなざしが強く背景の扱いがすばらしい。

二席の川合さんのジャンプは鯉が飛び上った瞬間を見事にとらえている。またバックの色調を落とし鯉を引き立たせている。

三席の鈴木さんのファンタジーは小さなきのこを2枚の組写真でファンタジックにとらえた表現力が見事。

岡田文化財団賞は、作者の独創的なカメラアイにより感性あふれる作品に仕上がった。

【 書 道 】

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
一 席	王勃の詩	浅香晴美	松阪市高町
二 席	シリア沙漠の少年	出口由美子	松阪市小阿坂町
三 席	小倉百人一首	松田眞千子	松阪市岩内町
岡田文化財団賞	杜甫詩	上山ちづ	松阪市愛宕町三丁目
奨励賞	杜甫詩	川村和代	松阪市東黒部町
奨励賞	蘇東坡前赤壁賦	福岡 涼	松阪市嬉野黒田町
奨励賞	百人一首	川合知子	松阪市伊勢寺町
奨励賞	王鐸臨	村上誠子	松阪市日野町
奨励賞	呉昌碩臨 竹石図	伊藤めぐみ	松阪市久保町
奨励賞	謡曲 老松	内田純子	松阪市西町
奨励賞	蝸牛角上争何事	吉田清代香	松阪市大黒田町
入 選	李白詩	吉川あづさ	明和町浜田
入 選	賈島詩	岩木すま子	松阪市高町
入 選	徐渭詩	中川洋子	松阪市日丘町
入 選	姚汝循詩	前川有紀子	玉城町中楽
入 選	姚鼐詩	濱田陽子	松阪市大口町
入 選	梁簡文帝詩	清野明子	松阪市下村町
入 選	姜宸英詩	北川享子	松阪市中道町
入 選	謝朓詩	里中美佳	松阪市下村町
入 選	楊素詩	藤木麻里子	松阪市櫛田町
入 選	島崎藤村の詩	金児清子	松阪市垣鼻町
入 選	高村光太郎の詩	加藤瑞季	松阪市本町
入 選	あてのない消息	久保友美	多気町平谷
入 選	ボドガヤ幻想	篠原由紀子	松阪市飯南町粥見
入 選	石川啄木の詩	岡田知與子	松阪市桜町
入 選	北原白秋の詩	小雀雅子	松阪市下村町
入 選	書譜	福田桂子	松阪市嬉野中川町
入 選	曹全碑	北岡由巳子	松阪市嬉野黒田町
入 選	白玉井銘	廣瀬裕子	松阪市嬉野黒田町
入 選	百人一首	川村憲子	松阪市東黒部町
入 選	百人一首	坂東 瞳	松阪市湊町
入 選	百人一首	宇野多恵子	松阪市高町
入 選	千字文	平岡令孝	松阪市嬉野権現前町
入 選	王褒詩	大久保しのぶ	松阪市駅部田町
入 選	王維詩	福井幸恵	松阪市上川町
入 選	綦毋潜詩	佐藤友香	松阪市久保町
入 選	孟浩然詩	岡田真由美	松阪市阿形町
入 選	北原白秋の詩	田中千鶴子	松阪市五反田町五丁目

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	踊りの輪	仲井恵美	松阪市飯高町田引
入 選	三十六歌仙	秋山洋子	多気町五佐奈
入 選	百人一首	村井恒子	多気町土羽
入 選	百人一首	小柳喜久子	多気町上出江
入 選	百人一首	中山明子	松阪市上川町
入 選	山家集	高階栄子	松阪市垣鼻町
入 選	孫秋生造像記(臨)	山寄 保	多気町片野
入 選	米芾臨	梅村郁子	松阪市久保町
入 選	李太白詩卷 蘇軾の詩	杉岡房子	松阪市曾原町
入 選	胡宿句	村林正敏	松阪市新町
入 選	蘇軾(臨)	鈴木誠人	松阪市泉町
入 選	王鐸 疑山園帖(部分)	伊藤田鶴子	松阪市桜町
入 選	龍飛鳳翔	小泉晴生	松阪市西町
入 選	新古今和歌集 藤原秀能	高桑壽子	松阪市久保町
入 選	三日李九の荘を尋ぬ	伊藤和歌子	松阪市上川町
入 選	臨多宝塔碑	西谷鮎乃	松阪市石津町
入 選	臨孟法師碑	奥山日出美	明和町竹川
入 選	臨李太白仙詩卷	松浦亜実	松阪市嬉野中川町
入 選	臨僧智元乱等造像記	大西 舞	松阪市虹が丘町
入 選	臨楊大眼造像記	市村桃子	伊勢市二俣
入 選	臨集字聖教序	森岡奈々	松阪市垣鼻町
入 選	臨争坐位文稿	松浦水紀	松阪市上川町
入 選	臨風信帖	岡本春香	多気町丹生
入 選	臨曹全碑	吉尾綾華	松阪市垣鼻町
入 選	臨曹全碑	小林凌大	松阪市川井町
入 選	秋月揚明暉	宗林一雄	松阪市中町
入 選	春和景明	上村将生	松阪市大黒田町
招 待	中川一政のことば(気韻生動)	鬼頭翔雲	松阪市駅部田町
招 待	金冬心	中村翠雲	松阪市光町
招 待	松尾芭蕉の句	中村小汀	松阪市清生町
招 待	龍騰	佐久美泉涯	松阪市虹が丘町
審査委員	豊穰(二字句)	工藤俊朴	松阪市嬉野黒田町
審査委員	辭章粲然	樋口鈴峰	鈴鹿市東旭が丘
審査委員	紅葉	津田壽美	伊勢市中村町

(順 不 同)

● 審 査 評

出品数は昨年より8点増の66点。入賞作品はバラエティに富む結果となりました。出品者は大幅に入れ替わった様を感じました。市展の意義は新人の発掘という重要な視点もあります。半切作品にも完成度の高いものが揃っていました。次年度大作へ繋がれば喜ばしい限りです。

第一席の作品は、王鐸の雰囲気、大きな構えある、力強い作品です。